

競 技 注 意 事 項

1. 競 技 方 法 2023年日本陸上競技連盟競技規則及び本大会申し合わせ事項による。
2. アスリートビブス 個人アスリートビブス（ナバカード）（男女赤字）を胸背部につける。ただし、跳躍競技は胸背いずれかでよい。トラック競技に出場する選手（リレーの1～3走者を除く）は全員腰ナンバー（大会本部で用意する）を右腰後方に付ける。
3. 招 集
 - 招集完了時刻は、トラック競技は20分前、フィールド競技の予選は40分前、フィールド競技の決勝は30分前、ただし、棒高跳は予選・決勝ともに100分前とする。混成競技のフィールド種目は30分前とする。
 - 競技者は招集完了時刻の10分前から招集までに招集所に集合し、点呼を受ける。
 - 他の種目と競技時刻が重なる場合には、最初の種目の招集時に招集所の審判にその旨を告げておくこと。
 - 招集時刻に遅れた選手は棄権とみなす。
 - 招集所は雨天走路（100mスタート付近）とする。
 - 四種競技の2種目目以降の種目の招集も招集所で行う。
4. 練 習 場 ウォームアップ場は補助競技場のみとする。（ウォームアップ場使用上の注意 参照）
5. 使 用 器 具 器具は本部で用意したものを使用すること。ただし、棒高跳のポールは各自のものを使用すること。バトンも本部で用意したものを使用し、レース後ただちに係員に返すこと。
6. 競 技 順 予選はプログラム掲載順とし、決勝のレーン順・試技順は抽選による。
7. オーダー用紙 リレーに出場するチームは、予選については、事前に配布されたオーダー用紙に記入し、大会1日目の12:00までに招集所に提出すること。A決勝については、オーダー用紙を招集所で受け取り、大会2日目の12:00までに招集所に提出すること。提出後の選手変更については、招集完了時刻の1時間前までに招集所を通して審判長へ申し出る。それ以降の変更については、主催者が任命した医務員の判断がなければ認められない。
8. トラック競技
 - 不正スタートをした競技者は1回目で失格とする。ただし、男女四種競技においては、各レースでの不正スタートは1回のみとし、その後不正スタートをした競技者は、すべて失格とする。
 - トラック種目の予選はタイムレースとする。100m、200m、400m、800m、100mH、110mH、4×100mRは予選ラウンドで上位8名（8チーム）の競技者がA決勝に、A決勝進出競技者を除いた上位8名（8チーム）の競技者がB決勝に進出するものとする。A決勝進出者に辞退者が出ても、繰り上げは行わない。1500mは15名で行う。
 - B決勝の記録がA決勝の記録を上回っても、順位の入替は行わない。表彰の対象となるのは、A決勝のみである。
 - 男子1年1500m、女子1年800m、男子共通3000mはタイムレース決勝とする。
 - 予選から決勝へと進出者を決めるときに、同記録者があるときは、0.001秒まで判定して進出者を定める。それでも決められない場合、レーンに余裕がある時には、同記録者全員が決勝に進めるようにする。それが不可能な時は、抽選とする。なお、該当者は、通告後5分以内本部席前に集合しない場合は失格とする。
 - 短距離では、事故防止のためフィニッシュライン到着後、自分に割り当てられたレーン（曲走路）を走ること。
 - リレーのユニフォームは上下とも同一色を基本とする。色がそろっていれば、ランパン・スパッツ、ランシャツ・セパレートが混在していてもよい。
9. フィールド競技
 - 走高跳、棒高跳、走幅跳、砲丸投は予選を行う。予選通過記録は、走高跳は男子1m85、女子1m60、男子棒高跳は4m00、走幅跳は男子6m55、女子5m45、砲丸投は男子13m00、女子12m50とする。女子棒高跳の予選は行わない。

- 共通走幅跳男女1組はメインスタンド側、2組はトラック側のピットで行う。
- 砲丸投男女1組は本競技場ピット、2組は補助競技場ピットで行う。
- 予選通過記録突破者が12名に満たない場合は、予選12位までの者で決勝を行う。

10. バーの上げ方	男子走高跳予選	150	155	160	165	170	175	180	185				
	男子走高跳決勝	165	170	175	180	185	188	以後 3cm					
	男子棒高跳予選	200	220	240	260	280	300	320	340	360	380	390	400
	男子棒高跳決勝	260	280	300	320	340	360	380	390	以後 10 cm			
	男子四種走高跳	135	140	145	150	155	160	165	170	173	以後 3cm		
	女子走高跳予選	130	135	140	145	150	155	160					
	女子走高跳決勝	140	145	150	155	160	163	以後 3cm					
	女子棒高跳決勝	200	220	240	250	以後 10cm							
	女子四種走高跳	115	120	125	130	135	140	143	以後 3cm				

(当日変更する場合もある)

11. スパイク トラック種目・走幅跳・棒高跳は9mm以下、走高跳12mm以下とする。

12. シューズ 靴底の最大の厚さについては、以下のようにする。
 800m未満のトラック種目・フィールド種目 20mmまで
 800m以上のトラック種目 25mmまで

13. 表彰 ○各種目の1～3位に賞状とメダル、4～8位に賞状を授与する。
 ○入賞者は競技終了後、係員の指示に従い、表彰場所に移動し待機する。
 なお、100mの表彰は2日目の8:30より行う。

14. その他 ○本大会は、関東大会の第一次予選会とする。
 ○本大会で全国大会参加標準記録か下記の指定種目記録を突破した各種目優勝者は、関東大会の参加資格を得る。

男子	1年100m(12"10)	2年100m(11"54)	
女子	1年100m(13"14)	2年100m(12"74)	棒高跳 (3m10)

- 本大会の男女リレーで3位以内の学校は、県総体への出場権を得る。
- 当日の選手変更は一切認めない。
- 当日審判員のいない学校は、選手の出場を停止する。
- 競技する選手・補助員以外は、トラック・フィールド内に立ち入ることはできない。
- 大会中はアスリートビブスをADカードの代わりとする。
- ゴミ等は各校・各自で責任をもって処理する。
- 応援横幕はスタンド上段に、のぼりはメインスタンド最上段に設置すること。ただし、保護者観覧席への設置は禁止とする。
- テントはメインスタンド、バックスタンドともに上段に設置すること。サイドスタンドは、通路より上に設置すること。
- ウォームアップ場には、設置してある用器具以外、持ち込まないこと(ただし、ピストル・バトンを除く)。投げる行為は禁止とする。
- 中学生は携帯電話等の電子通信機器を競技場内では原則として使用しないこと。
- トランシーバーを使用する場合、本部で使用する7・8・9・10チャンネルの使用を禁止する。
- 写真・動画撮影については大会本部より許可されている場所・方法以外での撮影は禁止する。
- 熱中症予防のため、選手は適宜水分補給を行うなどの体調管理に気を付けること。
 なお、競技前に具合が悪くなった生徒は、近くの審判員に声をかけ、指示を仰ぐこと。
- 待機する生徒についてもこまめに水分を取り、日陰に入るなどして適宜休憩をとること。なお、具合が悪くなった生徒は、近くの審判員に声をかけ、指示を仰ぐこと。